

学校応援プロジェクト 2022 年度活動報告

八王子学園八王子中学校 大学訪問・キャリア学習プロジェクト

12月17日（土）、八王子学園八王子中学校の3年生約100名が中央大学多摩キャンパスを訪問し、キャリア学習を行いました。八王子学園のみなさんを学校応援プロジェクトでお迎えするのは昨年に引き続き2回目です。

当日までの準備

今回のプロジェクトに向けては、昨年度の経験を踏まえ2ヶ月前にはおおよその企画案を作成しました。参加メンバーにはどの役割をやりたいかの希望を取り、全員がキャンパスツアーやアイスブレイクなどの5つのグループのいずれかに属するようにするとともに、各グループにはミーティングの進行から当日の詳細まで責任をもつ代表を置く形としました。本格始動にあたっては、各グループの代表者を集めた代表ミーティングを開き、各グループでのミーティング日程ややるべきことなど2ヶ月間のスケジュールを再度検討しました。その後は、代表ミーティングを2週間に1度ほどもち、お互いにアドバイスをしあえる時間を取りました。全体ミーティングも2週間に1回のペースで行い、全員が各グループの進捗状況を把握できるようにしました。綿密なスケジュール調整により、ほぼ計画通りに進めることができました。全体の統括代表は各グループに所属せず、一年生でグループ代表を務めた学生のサポートや、ミーティングになかなか参加できない学生と連絡役となり、組織がよりうまく回るように配慮しました。これまでの実践の経験を活かし、自由度もありながらお互いにサポートできる体制であったと思います。

プロジェクト当日

今回は、朝9時過ぎスタートでお昼までのほぼ半日のプロジェクトです。これまで実施してきたキャリア学習のプロジェクトの経験をもとに、今まで以上に生徒のみなさんが楽しんでもらえるように企画しました。

まず、プロジェクトメンバーが中学生を大教室で出迎えるところから始まりました。「おはようございます！」と声をかけながらできるだけ元気に中学生を迎えました。



最初は、大学生による『大学・キャンパス・学部紹介』です。去年の経験から最初に雰囲気を作ることが大切であることがわかっていたので、大学紹介で、中央大学の広さを質問する際に、「東京ディズニーランドとほぼ同じ、東のディズニーランド、西の中央大学」と紹介をしたところ、喜んでもらえたようです。さらに大学がどのような場所かをイメージをもってもらえるように、中央大学に関するクイズ、中学校と大学の違い、中学生の学びが大学でどのようにつながるかなど工夫を凝ら

しながら紹介していきました。多様な学部の大学生が入れ替わりながら自身の経験を踏まえて紹介をし、生徒のみなさんにとっては親しみやすかったようでした。スタートするときは初めての場所で緊張した雰囲気でしたが、紹介の時間を通じて固さがほぐれてきたのを感じました。

次に、大教室からクラスごとに150人規模の教室へ移動をし、アイスブレイクを行いました。中学生と大学生の心の距離を縮め、このあとのプログラムがスムーズに進むようにするため、学校応援プロジェクトでは毎回工夫をこらして実施しています。今回は、なんと！イントロクイズです。各班に大学生1名が入り、中学生と一緒に話し合いながら曲を答えました。最近のJ-POPから昔のアニメまで幅広いジャンルが出題されました。中学生の方が曲に詳しく、大学生は助けをもらうばかりでした…。正解すると歓声があがり、拍手がわき大いに盛り上がりました。

お互いに打ち解けたところで、これからのキャリアや進路学習に活かせるようキャリア相談を行いました。朝の『大学・キャンパス・学部紹介』を聞いて疑問に思ったことや学部・学科の詳細、高校・大学生活についてなど、自由に中学生に質問してもらい、大学生が答えます。アイスブレイクで緊張がほぐれすぎてしまったのか(?) 会話が弾んで「時間が足りない!」という声も多数ありました。

最後は、班ごとにキャンパスツアーを行いました。ディズニーランドとほぼ同じくらい広大なキャンパスを全て回るのはとても大変なので、事前におすすめコースを用意しつつ、中学生が行きたいところも踏まえて出発しました。建物の外観だけでなく、図書館や学食などに実際に入ることもでき、大学ならではの雰囲気も充分感じられたようでした。広大なキャンパスで迷子にならず、全員無事に帰って来られて安心しました!!

プロジェクト終了後に寄せられた感想からは、「大学生から色々な話を聞いてとても参考になった」や「学部についてイメージを持つことができた」、「数年後の自分を考えるきっかけになった」など、うれしい声をいただきました。今回のプロジェクトが中学生のみなさんのキャリアを考える上で一助となったなら幸いです。

学校応援プロジェクトでは、今回のプロジェクトで得た経験を次のプロジェクトに活かし、より一層中学生のみなさんの力となれるようにしていきます。

